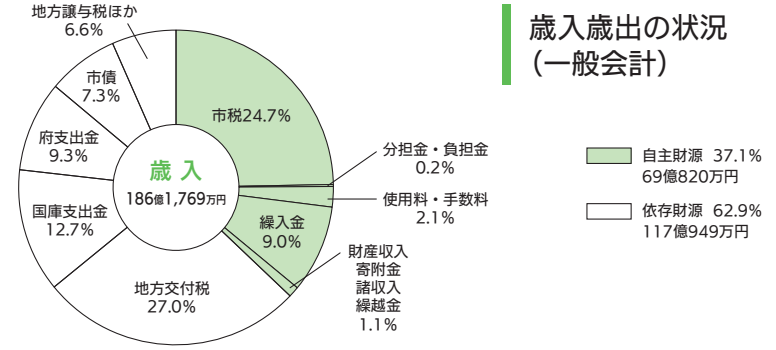


令和5年度当初予算

歳入歳出の状況 (一般会計)

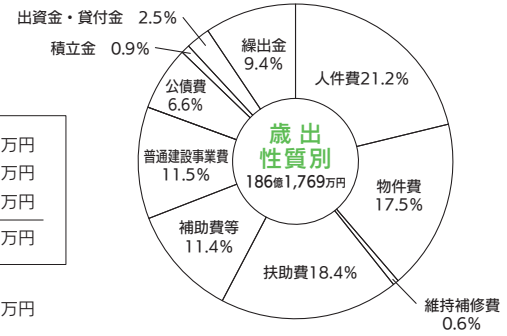


自主財源 37.1%
69億820万円
依存財源 62.9%
117億949万円

当初予算の規模

一般会計	186億1,769万円
特別会計	93億8,687万円
公営企業会計	128億9,359万円
合計	408億9,815万円

令和4年度への前倒し計上分
3億8,975万円



令和5年度の当初予算が、市議会3月定例会で可決されました。限られた財源の中で最大の効果を生み出す財政運営を基本に、将来にわたって持続可能なまちを目指します。(記事ID2947)

一般会計は2年連続過去最大規模

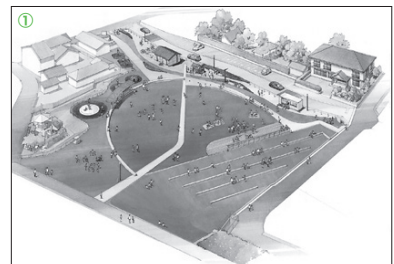
令和5年度の当初予算は、一般会計186億1769万円、前年度より2.9割増。物価高騰への対応や感染症対策、子育て支援の充実により2年連続で過去最大規模となりました。

過疎債を有効活用

歳入の自主財源の柱である市税収入は46億278万円(同比4.8割増)としました。固定資産税を中心に増加し、コロナ禍前の水準並みに回復する見通しです。市債(借入金)は、13億5900万

コロナ後のまちづくりを推進

歳出では、物価高騰・感染症対策に加え▽子育て・教育支援▽行政サービスのデジタル化▽ゼロカーボンシティの推進▽安全・安心▽移住・定住に関する施策に予算を重点配分しました。また、コロナ禍で進めることができました第6次総合計画に掲げる多くの施策を実施。「医・職・住・教育・情報発信」をキーワードに、アフターコロナのまちづくりを推進します。

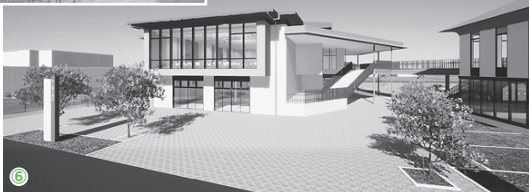
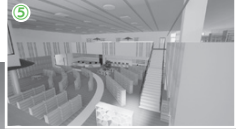


住 災害に強く環境に優しい安全安心で元気なまちづくり

- 西部地域消防防災拠点施設整備事業費 12,954千円
- 西部地域復興センター整備事業費 2,332千円
物部菅農指導センター隣接地に行政窓口併設の消防防災拠点施設を整備
- 新都市公園整備事業費 158,000千円=写真①
- 下水道接続補助金 10,617千円
低所得世帯の下水道接続費用を補助
- 災害対応ドローン整備事業費 3,347千円
- あやべにぎわいづくり補助金 2,000千円
地域ににぎわいと活力をもたらすイベントを支援
- 自治会活動活性化推進費 6,300千円
自治会連合会が取り組む環境保全活動を支援
- スローライフ・フォーラム in 綾部開催事業費 800千円
ゆったりとしたライフスタイルを楽しむスローライフを考えるフォーラムの府内初開催に向けた支援

教育 次世代を担う子どもたちを育み豊かな社会をつくる 情報発信 に努め綾部ファンを増やす

- 新図書館整備事業費 198,830千円=写真⑤
- 不登校等対応事業費 5,314千円
綾部中学校内に学びの場を設置
- 市民プール改修事業費 150,000千円=写真③
- 小学校・中学校等給食費補助事業費 19,530千円
幼稚園、小学校、中学校の給食費にかかる保護者負担を軽減
- 小学校大規模改修事業費 66,572千円
- 自治体DX推進事業費 33,188千円
- あやべ水源の里トレイルラン開催事業費 1,000千円
スポーツ観光推進のため、大会のサポートやにぎわいづくりを支援
- マイナンバーカード取得促進事業費 44,000千円
国のポイント制度終了後に、マイナンバーカードを取得した人にプリペイドカードを進呈



医 誰もが安心して住み続けられる優しいまちづくり

- 地域子育て支援拠点施設整備事業費 43,513千円
駅北複合施設内に雨天時の子どもの遊び場や子育て世代が交流できるスペースを整備
- こども発達支援拠点施設整備事業費 29,222千円
旧綾部幼稚園に、発達に支援が必要な児童とその家族をサポートする施設を整備
- 保育所等副食費支援事業費 5,316千円
- インフルエンザ予防接種補助事業費 14,582千円
- ヤングケアラー対策事業費 5,326千円
- 子育て世帯住宅支援事業費 5,000千円
多子世帯、三世帯同居などの住宅リフォームに対する支援
- 清山荘大規模改修事業費 4,829千円=写真②
- 庁舎改修整備事業費 1,947千円
議会傍聴席に車いす用傍聴席を整備

職 ものづくり産業を振興し、雇用の場と人材の確保

- 地域交流センター整備事業費 123,046千円=写真④
駅北複合施設内にコンベンション機能を持つ地域交流センターを整備
- 緊急金融支援信用保証料補助金 2,500千円
府の融資制度を利用した事業者に信用保証料の一部を補助
- ものづくり企業振興補助金 40,200千円
生産設備の導入や福利厚生などの取り組みを支援
- 認定農業者経営発展支援事業費 10,000千円
- 緊急人材確保対策事業費 902千円
- スマート農林水産業実装チャレンジ事業費 9,318千円
- 「京の米」生産イノベーション事業費 1,963千円
市場競争力のあるコメの生産効率を上げるため、農業者団体等の機械導入を支援



令和4年度へ前倒した事業 (令和4年度3月補正予算)

(仮称) 駅北複合施設整備事業費=写真⑥	268,800千円
新図書館整備事業費	134,400千円
地域交流センター整備事業費	89,600千円
地域子育て支援拠点施設整備事業費	44,800千円
府営ため池等整備事業費	1,500千円
小学校大規模改修事業費	119,445千円

都市農村交流の拠点として機能拡充 里山交流研修センターをリニューアル



①天窓から光が差し込み中庭を望める開放的なコワーキングスペース②体験室ではソバ打ち体験や陶芸教室など各種催しの開催が可能③宿泊室洋室には、京都府内産木材で作った2段ベッド2対設置し最大30人まで宿泊が可能④幸喜山荘は大きな食堂があり大人数の合宿などにも対応⑤多目的トイレにはオストメイト対応トイレやおむつ交換台を設置



施設案内

開館時間 午前9時～午後10時（要予約）
休館日 毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12月28日～翌年1月4日）
営業時間 午前9時～午後5時
駐車台数 24台
住所 鍛冶屋町茅倉9番地
アクセス あやバス西坂線「かじや（里山交流研修センター前）」下車すぐ
問い合わせ 里山ねっと・あやべ
 ☎(47)0040
 📠(47)0084
ホームページ <https://ayabesatoyama.net/>



施設の使用料金（消費税込み）

里山交流館
 （体験室（大）900円～、（小）500円～、アトリエ500円～、コワーキングスペース1人400円～）
幸喜山荘
 （研修室700円～）
森もりホール
 （交流室500円～、多目的ホール：全面2,000円～、半面1,000円～）
宿泊料（1人あたり1泊）
 一般3,850円、高校生以下3,080円、小学生以下2,310円、3歳以下無料
 ※詳細はホームページを参照するか同センターへ問い合わせてください。

今回のリニューアルにより、各種体験事業の幅が広がることにわくわくしています。これまで以上に、皆さんに楽しんでもらえるイベントを検討中ですので、期待してください。「綾部は、自分にとって必要な“何か”が見つかる場所ではないか」という期待を、訪れた人に持ち帰ってほしいです。



里山ねっと・あやべ事務局長
大力聡美さん

市が令和3年度から事業を進めてきた、同センターのリニューアルが完了しました。4月26日には竣工式を挙行。5月のオープンを予定しています。

機能強化し都市との交流を加速

同施設の本館である里山交流館（以下、本館）は平成29年、耐震強度不足が判明しました。そこで、幸喜山荘を含めた全体の活用方法について検討を重ねた結果、リニューアルすることを決定。令和3年度に設計着手し、本年3月末に完成しました。

総事業費は約3億円。新築した本館は、木造平屋建て、延べ床面積は約490平方メートルで▽宿泊室（洋室7、和室1）▽コワーキングスペース▽体験室（大部屋1、小部屋1）▽アトリエを整備しました。また、コワーキングスペースではWiFiが使用でき、オンライン会議などが可能になります。幸喜山荘の1階は宿泊者用の食事場所に改修し、和室と土間席でゆったりと食事を楽しめます。これらリニューアルした施設と、既存の森もりホールやパーベキューサイト、芝生の中庭なども含め、滞在型農村体験拠点施設と

しての機能を大幅に強化しました。

今後も交流人口の拡大に貢献

同センターは、平成11年3月に廃校になった豊里西小学校を活用し、翌年9月に滞在型農村体験施設として開設。本市の都市農村交流の拠点として里山ねっと・あやべが運営を担っています。

平成18年には、幸喜山荘を建設。また、本館で宿泊と飲食ができるよう改装しました。平成29年に、体験交流施設「森もりホール」をオープン。翌年には、京都産業大学がフィールドワークの拠点として活用するため「綾むすび館」として合宿施設に位置付けるなど事業を展開してきました。

今回のリニューアルによって、更なる交流人口の拡大が期待されています。



里山ねっと・あやべが中心になり、里山交流大学（写真）など農村の魅力を発信する取り組みを他市に先駆けて展開